

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- (ア) 満期保有目的の利付商工債券については取得価額とした。
- (イ) 関係法人株式については取得価額とした。

### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は最終仕入原価法による原価法とした。

### (3) 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産

定率法または旧定率法を採用している。

但し、平成10年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については旧定額法、

平成19年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については定額法、

平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用している。

#### ②無形固定資産

定額法を採用している。

#### ③長期前払費用

法人税法の規定に基づく期間均等償却

### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、期末退職給与の要支給予定額とした。

### (5) 消費税などの会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

### (6) 税効果会計

法人税法上の収益事業にかかる課税所得の額に重要性が乏しいため適用しない。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

勘定科目	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	該当なし			
特定資産				
< 運輸事業振興助成交付金事業 >				
近代化基金	2,616,832,013	0	0	2,616,832,013
施設運営基金	1,054,089,508	0	0	1,054,089,508
利子補給資金	9,771,125	0	0	9,771,125
事業資金	74,870,011	2,188,645	0	77,058,656

勘定科目	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
固定資産				
土地	682,943,567	0	0	682,943,567
建物	940,653,050	0	32,944,425	907,708,625
建物附属設備	182,321,823	0	21,634,872	160,686,951
構築物	117,644,856	0	15,813,725	101,831,131
車両	5,522,820	0	1,839,096	3,683,724
備品什器	11,462,221	305,800	4,328,134	7,439,887
機械設備	12,685,718	0	1,496,914	11,188,804
電話加入権	340,000	0	0	340,000
下水道施設利用権	394,670	0	47,787	346,883
長期前払費用	266,859	437,938	35,804	668,993
小計	5,709,798,241	2,932,383	78,140,757	5,634,589,867
<一般事業>				
退職給付引当資産	92,684,845	5,623,861	12,246,229	86,062,477
財政調整積立金	60,989,500	0	0	60,989,500
記念事業積立金	23,019,267	0	0	23,019,267
緊急救援輸送対策積立金	60,000,000	0	0	60,000,000
小計	236,693,612	5,623,861	12,246,229	230,071,244
<研修会館等事業>				
施設備品什器補修引当資産	8,690,000	0	0	8,690,000
施設取得資金(公)	45,634,025	6,984,544	0	52,618,569
施設取得資金(収、他)	108,189,921	15,015,456	0	123,205,377
小計	162,513,946	22,000,000	0	184,513,946
<施設運営基金事業>				
施設整備・維持管理引当資産	46,309,705	0	0	46,309,705
小計	46,309,705	0	0	46,309,705
特定資産計	6,155,315,504	30,556,244	90,386,986	6,095,484,762
合計	6,155,315,504	30,556,244	90,386,986	6,095,484,762

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

勘定科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	該当なし			
小計	0	(0)	(0)	—

勘定科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
<運輸事業振興助成交付金 事業>				
近代化基金	2,616,832,013	(2,616,832,013)	(0)	
施設運営基金	1,054,089,508	(935,781,226)	(118,308,282)	
利子補給資金	9,771,125	(0)	(9,771,125)	
事業資金	77,058,656	(0)	(77,058,656)	
固定資産				
土地	682,943,567	(378,239,598)	(304,703,969)	
建物	907,708,625	(534,340,378)	(373,368,247)	
建物付属設備	160,686,951	(147,822,897)	(12,864,054)	
構築物	101,831,131	(98,119,948)	(3,711,183)	
車両	3,683,724	(3,683,723)	(1)	
備品什器	7,439,887	(7,380,505)	(59,382)	
機械設備	11,188,804	(9,929,855)	(1,258,949)	
電話加入権	340,000	(340,000)	(0)	
下水道施設利用権	346,883	(0)	(346,883)	
長期前払費用	668,993	(657,553)	(11,440)	
<一般事業>				
退職給付引当資産	86,062,477	(0)	(0)	(86,062,477)
財政調整積立金	60,989,500	(0)	(60,989,500)	
記念事業積立金	23,019,267	(0)	(23,019,267)	
緊急救援輸送対策積立金	60,000,000	(0)	(60,000,000)	
<研修会館等事業>				
施設備品什器補修引当資 産	8,690,000	(0)	(8,690,000)	
施設取得資金	175,823,946	(0)	(175,823,946)	
<施設運営基金事業>				
施設整備・維持管理引当資 産	46,309,705	(0)	(46,309,705)	
小 計	6,095,484,762	(4,733,127,696)	(1,276,294,589)	(86,062,477)
合 計	6,095,484,762	(4,733,127,696)	(1,276,294,589)	(86,062,477)

#### 4. 担保に供している資産

該当する資産はない。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(1) 一般事業

勘定科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両	2,906,378	2,906,377	1
什器備品	2,340,581	2,228,281	112,300
ソフトウェア	21,075,920	14,813,956	6,261,964
構築物	79,237	18,380	60,857
建物付属設備	1,588,751	396,955	1,191,796
合 計	27,990,867	20,363,949	7,626,918

(2) 研修会館等事業

勘定科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	6,681,304	535,639	6,145,665
構築物	475,422	110,309	365,113
什器備品	1,517,537	843,796	673,741
ソフトウェア	183,600	146,880	36,720
長期前払費用	64,262	2,942	61,320
合 計	8,922,125	1,639,566	7,282,559

(3) 運輸事業振興助成交付金事業

勘定科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,561,892,061	654,183,436	907,708,625
建物付属設備	541,557,096	380,870,145	160,686,951
構築物	290,366,734	188,535,603	101,831,131
車両	13,243,497	9,559,773	3,683,724
什器備品	131,322,762	123,882,875	7,439,887
機械設備	23,601,932	12,413,128	11,188,804
下水道施設利用権	713,250	366,367	346,883
長期前払費用	706,392	96,949	609,443
合 計	2,563,403,724	1,369,908,276	1,193,495,448

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(1) 一般事業

勘定科目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付金融債	10,000,000	10,000,000	0
合 計	10,000,000	10,000,000	0

## (2) 研修会館等事業

勘定科目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付金融債	0	0	0
合 計	0	0	0

## (3) 運輸事業振興助成交付金事業

勘定科目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付金融債	470,000,000	470,000,000	0
合 計	470,000,000	470,000,000	0

## 7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運輸事業振興助成交付金	福岡県	0	802,408,000	802,408,000	0	残高なし。
助成金						
地方適正化事業体制整備助成金	全日本トラック協会	0	14,245,000	14,245,000	0	残高なし。
全国関連事業推進助成金(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業助成金)	全日本トラック協会	0	8,200,000	8,200,000	0	残高なし。
全国関連事業推進助成金(トラックの日全国統一広報事業)	全日本トラック協会	0	1,500,000	1,500,000	0	残高なし。
近代化基金融資利子補給金助成金	全日本トラック協会	0	3,795,446	3,795,446	0	残高なし。
トラック輸送取引環境・労働時間改善地方協議会開催助成金	全日本トラック協会	0	120,300	120,300	0	残高なし。
合 計		0	830,268,746	830,268,746	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	57,469,360
除却損計上による振替額	0
合 計	57,469,360

9. 重要な後発事象

該当する事項はない。

10. 付属明細書

(1)「基本財産及び特定資産の明細」については、本注記2に記載の通り。

(2)「引当金の明細」については、以下の通り。

勘定科目	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額		期末帳簿価額
			目的使用	その他	
退職給付引当金	82,305,522	4,923,861	10,814,130	0	76,415,253
役員退職慰労引当金	2,080,000	700,000	1,360,000	0	1,420,000
合 計	84,385,522	5,623,861	12,174,130	0	77,835,253